

樹なつみ 訪問場事仕

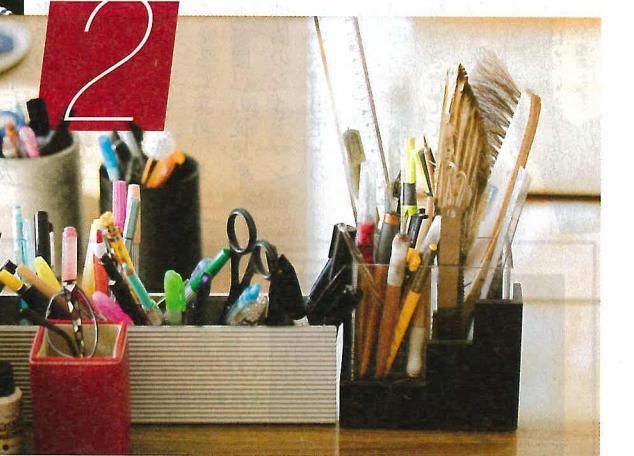
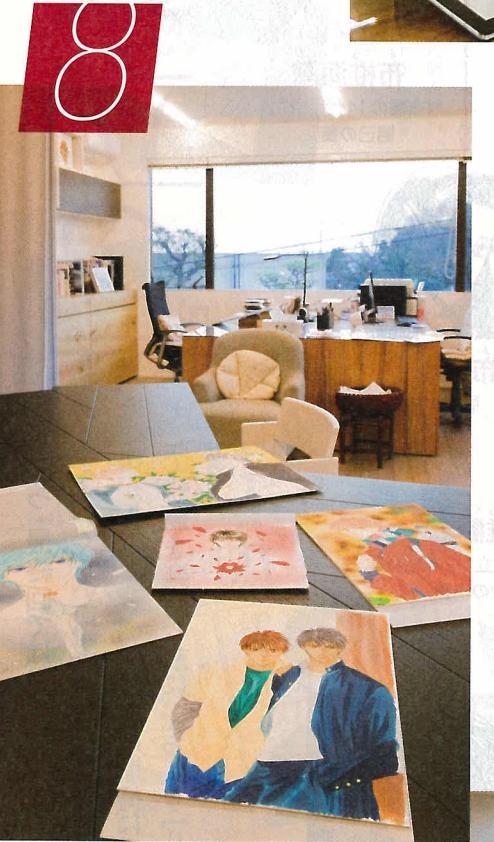
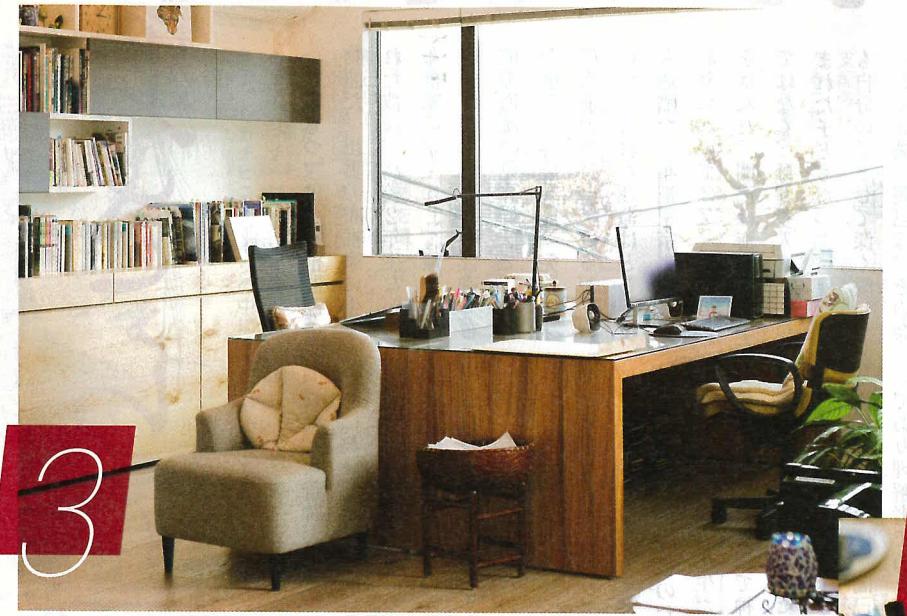
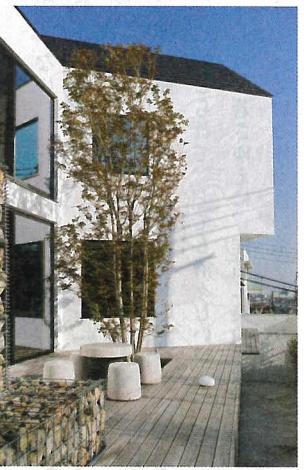
樹なつみさんの仕事場は、兵庫県にある。神戸付近のとある駅から坂道を上つた、小高い丘の上の瀟洒な住宅街だ。関西の建築家に依頼し、新築してまだ間もないという。一步、建物の中に入ると、明るさに驚いた。樹さんが執筆しているその部屋には一面の窓があつて、はるか遠くに大阪湾を望む。往き来する大型タンカーまで見える素晴らしい眺望だ。仕事机も建築家に特注で作つてもらつたもの。マンガ作業が自由にできるよう、とても大きい。周囲には本がいっぱい。インタビューや登場した資料本の数々も並ぶ。ほかのインテリアも、すべて美しく機能的だ。本誌は、保管されていた『八雲立つ』の貴重なカラー原画も見せていただいた。

このような素敵な仕事場を建てられるマンガ家は、やっぱりすごく夢のある職業だ。同時に、樹さんの仕事場は、自身のためというよりあくまで快適な執筆環境のため。1979年のデビュー以来40年近くもの間、樹さんの人生はマンガとともにあつた。うがつた見方かもしれないが、仕事場の凜とした雰囲気は、まさにマンガに対する樹さんの妥協のない姿

真上：お仕事場にある大きな本棚と
ファ。窓からは庭に出られる

真下右：窓の外にはこんな素敵なものデッキが

真下左：大阪湾を望む大きな窓



- 1.お仕事場に入ると迎えてくれるお人形
- 2.樹先生愛用の文房具たち
- 3.デスク周り。広い!
- 4.トレース台も大きいです